

スペイン

Spain

	2013年	2014年	2015年
①人口：4,645万人（2015年）			
②面積：50万5,957km ²			
③1人当たりGDP：2万5,865米ドル （2015年）			
④実質GDP成長率（%）	△1.7	1.4	3.2
⑤消費者物価上昇率（%）	1.4	△0.2	△0.5
⑥失業率（%）	26.1	24.4	22.1
⑦貿易収支（100万ユーロ）	△16,533	△24,975	△24,174
⑧経常収支（100万ユーロ）	15,565	10,238	15,047
⑨外貨準備高（100万米ドル）	35,430	39,494	44,378
⑩対外債務残高（グロス） （100万ユーロ）	1,634,508	1,734,625	1,813,242
⑪為替レート（1米ドルにつき、 ユーロ、期中平均）	0.7532	0.7537	0.9017

〔注〕⑦：国際収支ベース（財のみ）
〔出所〕①②④～⑥：スペイン国家統計局（INE）、③⑨⑩：IMF、⑦⑧⑩：スペイン銀行

2015年のスペイン経済は、内需や輸出の好調に支えられ実質GDP成長率が3.2%に加速した。貿易は、輸出が過去最高を記録した一方、原油安で輸入の伸びが抑制されたため、赤字幅が縮小した。対内直接投資は、電力システム改革をきっかけとした再生可能エネルギー資産買収が、対外投資では、先進国でのエネルギー、金融分野での大型案件が目立った。対日関係では、日本からの対スペインの投資が統計開始の1993年以来、最高となった。

■ 内需と輸出の好調が続く

2015年の実質GDP成長率は3.2%と前年の1.4%から加速した。3%を超えたのは8年ぶり。原油価格下落、金融環境の好転、絶好調の輸出と観光を追い風に、雇用改善と消費拡大の好循環が加速した。2016年第1四半期の実質GDP成長率も前年同期比3.4%と引き続き勢いを維持しているが、政府は世界経済の成長鈍化や原油価格上昇による消費鈍化の影響を考慮し、2016年の成長見通しを2.7%としている。

■ 輸出はEU向けが堅調、資源国の低調を相殺

2015年の輸出は前年比4.0%増の2,502億4,100万ユーロと5年連続で過去最高を更新。品目別にみると、主力の資本財（構成比20.1%）は新興国を中心とするEU域外向け建設機械とポーランド向け風力発電機が牽引。輸送機器ではエアバス製軍用機が中東、アジア大洋州向けで好

調。鉄道機器は大型案件の納入が相次いだ2014年の反動で約3割減となったが、サウジアラビアだけはハラマイン高速鉄道などの車両納入開始で急増した。最も成長に寄与した自動車（17.0%）は、8割を占めるEU向けが22.3%増と大きく回復し、トルコや北米向けが急増したことでEU域外向けも36.3%増となった。輸出台数は11.5%増の227万台となった。食料品（16.2%）は、野菜・果実が西欧向けを中心に12.2%増。豚肉も中国向けの倍増により8.5%増。化学品（14.4%）は医薬品が牽引した。消費財（9.7%）では、衣料がファストファッションの好調で12.6%と大幅増となった。

国・地域別の輸出は、EU28（構成比64.8%）が前年比6.0%増と堅調。EU域外向けは0.5%の微増だが、ロシアやアルジェリアなどの資源国向けが大幅に減少した。EU域外最大の輸出先である米国（4.6%）向けは自動車や、航空機部品の牽引で7.1%増。アジア大洋州（6.4%）は1.6%の微減だが、これは近年急増していた鉱物・エネルギーが約3分の1に減少したため。食料品、自動車、消費財などは好調だった。

表1 スペインの需要項目別実質GDP成長率

（単位：%）

	2014年	2015年				2016年
		Q1	Q2	Q3	Q4	
実質GDP成長率	1.4	3.2	2.7	3.2	3.4	3.4
民間最終消費支出	1.2	3.1	2.5	2.9	3.5	3.7
政府最終消費支出	0.0	2.7	1.5	2.5	3.0	2.6
国内総固定資本形成	3.5	6.4	6.1	6.3	6.7	5.2
財貨・サービスの輸出	5.1	5.4	5.8	6.0	4.5	3.7
財貨・サービスの輸入	6.4	7.5	7.6	7.4	7.2	5.4

〔注〕四半期の伸び率は前年同期比（季節調整済み）。

〔出所〕スペイン国家統計局（INE）

■ 輸入は原油安により増加が抑制

2015年の輸入は前年比3.3%増の2,744億1,500万ユーロ、貿易赤字は3.2%減の241億7,400万ユーロとなった。旺盛な内需による輸入増にもかかわらず赤字幅が縮小したのは、原油安の恩恵によるところが大きい。原油安で鉱物・エネルギー（構成比14.1%）の輸入額が前年から

29.2%減と急減したが、同部門を除いた輸入額は11.7%増と好調だった。構成比20.4%を占める最大輸入品目の資本財（自動車を除く）は、設備過剰感の解消や資金調達環境の改善で17.7%増となった。化学品（16.0%）はプラスチックや医薬品が牽引し8.4%増加。鉱物・エネルギー

は4分の3を占める石油・精製品が金額ベースで31.5%減少したが、数量ベースでは6.6%増と好況期の水準に達した。自動車(131%)は新車登録台数が103万台に達し、20.9%増と急増したことを反映し16.5%増加した。国内市場の回復や輸出増の影響で、自動車部品も8.3%増と好調。半分

近くを占める衣料が13.2%増と牽引し、消費財(12.0%)は12.0%増加した。ファストファッション大手による縫製国からの（再輸出用を含む）輸入が大部分を占める。

国・地域別に輸入をみると、EU28(構成比56.0%)が前年比7.9%増。ユーロ圏(44.5%)は自動車や医薬品、電気機器を中心に6.9%伸びた。非ユーロ圏は英国からの自動車と軍用機、中東欧からの自動車・部品を中心に21.6%増加した。EU域外(44.0%)からの輸入は1.9%減となった。原油安により石油調達先のアフリカ、中南米、中東などが軒並み減少、特にロシアは44.1%の大幅減を記録した。輸入が最も伸びたのはアジア大洋州(14.8%)で16.2%増。うち最大の輸入先である中国は衣料や携帯電話、パソコンの牽引で18.5%の急増となった。

表2 スペインの主要品目別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出				輸入			
	2014年		2015年		2014年		2015年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
資本財(自動車を除く)	48,465	50,315	20.1	3.8	47,458	55,878	20.4	17.7
自動車	35,548	42,604	17.0	19.8	30,808	35,891	13.1	16.5
食料品	37,328	40,552	16.2	8.6	28,647	30,890	11.3	7.8
化学品	34,201	35,984	14.4	5.2	40,397	43,773	16.0	8.4
中間財	25,641	26,159	10.5	2.0	17,984	18,853	6.9	4.8
消費財	22,090	24,282	9.7	9.9	29,417	32,936	12.0	12.0
鉱物・エネルギー	17,663	12,520	5.0	△29.1	54,504	38,605	14.1	△29.2
原材料	5,720	5,659	2.3	△1.1	9,375	9,459	3.4	0.9
耐久消費財	3,376	4,014	1.6	18.9	6,304	7,168	2.6	13.7
合計(その他を含む)	240,582	250,241	100.0	4.0	265,557	274,415	100.0	3.3

[注] EU域外貿易は通関ベース（輸出はFOB、輸入はCIF）、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

[出所] スペイン税関

表3 スペインの主要国・地域別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出				輸入			
	2014年		2015年		2014年		2015年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU28	152,847	162,070	64.8	6.0	142,407	153,586	56.0	7.9
ユーロ圏	120,229	126,244	50.4	5.0	114,354	122,223	44.5	6.9
フランス	37,857	38,697	15.5	2.2	29,275	29,756	10.8	1.6
ドイツ	24,927	27,088	10.8	8.7	32,354	35,925	13.1	11.0
イタリア	17,415	18,669	7.5	7.2	15,824	17,312	6.3	9.4
ポルトガル	17,746	17,915	7.2	1.0	10,185	10,698	3.9	5.0
非ユーロ圏	29,722	35,826	14.3	20.5	25,789	31,363	11.4	21.6
英国	16,630	18,231	7.3	9.6	11,223	12,584	4.6	12.1
ポーランド	3,930	4,791	1.9	21.9	3,974	4,502	1.6	13.3
トルコ	5,002	5,078	2.0	1.5	3,963	4,744	1.7	19.7
ロシア	2,583	1,672	0.7	△35.3	5,977	3,344	1.2	△44.1
アフリカ	16,306	16,339	6.5	0.2	28,130	23,925	8.7	△14.9
モロッコ	5,834	6,134	2.5	5.2	4,081	4,904	1.8	20.2
アルジェリア	3,696	3,273	1.3	△11.4	9,067	6,490	2.4	△28.4
アジア大洋州	16,250	15,984	6.4	△1.6	35,039	40,717	14.8	16.2
中国	4,060	4,438	1.8	9.3	19,938	23,623	8.6	18.5
ASEAN	2,825	2,978	1.2	5.4	6,239	6,715	2.4	7.6
日本	2,613	2,470	1.0	△5.5	2,634	3,218	1.2	22.2
韓国	1,988	1,851	0.7	△6.9	1,660	2,290	0.8	37.9
北米 (NAFTA)	15,440	17,049	6.8	10.4	16,161	17,447	6.4	8.0
米国	10,657	11,411	4.6	7.1	10,384	12,845	4.7	23.7
メキシコ	3,467	4,266	1.7	23.0	4,820	3,614	1.3	△25.0
中南米	10,831	11,100	4.4	2.5	12,959	11,789	4.3	△9.0
ブラジル	3,199	2,731	1.1	△14.6	3,041	3,136	1.1	3.1
中東	7,426	8,774	3.5	18.2	8,407	7,056	2.6	△16.1
湾岸協力会議(GCC)諸国	4,970	6,116	2.4	23.1	6,584	4,891	1.8	△25.7
サウジアラビア	2,276	3,094	1.2	36.0	5,183	3,439	1.3	△33.7
合計(その他を含む)	240,582	250,241	100.0	4.0	265,557	274,415	100.0	3.3

[注] ①アジア大洋州はASEAN + 6（日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド）に香港・台湾を加えた合計値。

②EU域外貿易は通関ベース（輸出はFOB、輸入はCIF）、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

[出所] スペイン税関

再生可能エネルギー再編進む

対内直接投資（届け出ベース、ネット、フロー）は、前年比60.7%増の187億1,700万ユーロだった。

最大事例は、フランスの通信大手オレンジによる同業ジャズテル買収（約32億ユーロ）であった。再生可能エネルギー（RE）分野では固定価格買い取り（FIT）制度の適時的廃止によりRE資産価値が下落し、米ファンド主導で再編が本格化した。一方、風力発電機器メーカーでは、アクシオナ・ウインドパワーが2016年4月にドイツ同業ノルデックスと経営統合、またガメサが同6月に独シーメンスの風力事業部門と経営統合で合意し、それぞれ世界5位、1位メーカーに浮上。洋上風力発電のノウハウを蓄積するドイツ企業と新興国の成長市場に強いスペイン企業の合従連衡が進んだ。

国・地域別では、EU28からの投資が倍近く伸びたが、この中には域外からEU諸国を経由した迂回投資も含まれる。2015年7月、カタル王族が大手百貨店エル・コレテ・イングレスに10%出資した。

■新興国減速を受け、OECD加盟国向け投資が増加

対外直接投資は、前年比2.9倍の177億7,600万ユーロに回復した。最大事例は、2015年5月に完了した石油大手レプソルによるカナダの同業タリスマン・エナジー買収（買収額約104億ユーロ）だ。これによりタリスマン・エナジーの持っていた拠点をも取得することになり、レプソルは未進出であった東南アジアの拠点と、地政学的に安定した北米の拠点を獲得し、石油上位15社に仲間入りした。エネルギー分野ではその他、電力大手イベルドロウラが2015年12月に子会社を通じ、米同業UILを30億ドルで買収・統合し、米国での足場を固めた。内需型企業が海外に成長の活路を求める動きとして、天然ガス輸送網管理エナガスが2015年3月にスウェーデンの高圧ガス輸送スウェデガスの50%を買収。石油パイプライン・貯蔵網管理CLHも2015年4月に英国政府から同業GPSSを取得。金融分野では、中堅サバデル銀行が英国TSB銀行を2015年8月に23億5,000万ユーロで買収、BBVAはトルコの傘下ガランティ銀行の株式14.89%を買い増しすることを発表した。

国・地域別では、OECD加盟国向けが91.9%と8年ぶりに9割を超え、新興国減速を受けた先進国へのシフトが鮮明となった。特に北米（構成比54.1%）は前年比2.8倍と急増。カナダでは自動車部品大手グルボ・アントリンが2015年8月に同業マグナ・インターナショナルの内装事業を買収。米国では、旅行業向けIT大手アマデウスが2016年1月に同業ナビテアを買収した。

■日スペイン貿易は自動車の輸出入が急増

対日貿易は、輸出が前年比5.5%減の24億7,000万ユーロ、輸入は22.2%増の32億1,800万ユーロとなった。貿易赤字は7億4,800万ユーロで、前年のほぼ収支均衡から大幅に拡大した。対日輸出の減

少は、液化天然ガス（LNG）が前年から84.3%減と急減したことが原因。LNGを除いた輸出額は11.9%増と好調だった。最大品目の医薬品（構成比18.1%）は31.2%増。輸出の26.6%を占める食料品部門も14.9%増と伸び、うち約3分の1を豚肉が占めた。乗用車は、メルセデス・ベンツや日産の新型車の日本市場投入により倍増した。対日輸入の回復を牽引したのは自動車（構成比47.1%）で前年比37.1%増、資本財（自動車を除く）（35.6%）は精密機械や金属加工機械が牽引した。

表4 スペインの主要国・地域別対内・対外直接投資<届け出ベース、ネット、フロー>
(単位：100万ユーロ、%)

	対内直接投資			対外直接投資		
	2014年	2015年		2014年	2015年	
	金額	金額	伸び率	金額	金額	伸び率
EU28	7,364	14,276	93.9	1,427	6,611	363.4
ユーロ圏	6,424	14,006	118.0	△993	2,951	-
ルクセンブルク	3,339	4,709	41.0	△972	△156	-
オランダ	175	4,442	2,431.6	△1,123	△1,739	-
フランス	1,124	1,967	75.0	△4,331	755	-
ドイツ	396	668	68.6	△39	2,330	-
非ユーロ圏	940	271	△71.2	2,419	3,660	51.3
英国	825	137	△83.4	1,222	3,455	182.9
北米 (NAFTA)	527	1,677	217.9	3,479	9,620	176.5
メキシコ	1,128	879	△22.1	57	764	1,250.5
米国	△270	609	-	3,242	△170	-
カナダ	△330	189	-	180	9,026	4,912.2
中南米	2,126	1,181	△44.5	5,688	1,900	△66.6
ブラジル	△154	347	-	3,834	700	△81.7
アジア大洋州	1,052	734	△30.2	△4,956	△732	-
日本	378	388	2.6	11	8	△33.4
香港	170	272	59.5	111	△933	-
中東	135	232	71.0	90	73	△18.8
湾岸協力会議 (GCC) 諸国	82	198	142.1	30	31	5.6
アフリカ	30	28	△7.4	172	133	△22.3
合計 (その他含む)	11,649	18,717	60.7	6,135	17,776	189.8

〔出所〕スペイン経済・競争力省

表5 スペインの業種別対内・対外直接投資<届け出ベース、ネット、フロー>
(単位：100万ユーロ、%)

	対内直接投資			対外直接投資		
	2014年	2015年		2014年	2015年	
	金額	金額	伸び率	金額	金額	伸び率
建設	1,719	4,181	143.2	△1,911	1,607	-
製造業	1,072	3,505	226.8	1,824	954	△47.7
食品	1,010	1,580	56.4	438	△266	-
機械・自動車およびその他	1	1,030	131,550.4	847	1,273	50.2
石油精製・化学・プラスチック	83	651	680.3	1,372	160	△88.3
不動産・企業向けサービス	2,659	3,082	15.9	△330	985	-
流通・小売り・卸売り	3,382	2,640	△21.9	△324	670	-
電力・ガス・水道・環境	756	2,335	208.8	3,240	912	△71.8
金融・銀行・保険	2,293	1,352	△41.0	10,325	2,829	△72.6
運輸・通信	△2,021	645	-	408	1,071	162.4
ホテル・レストラン	975	316	△67.6	245	64	△74.0
農業・牧畜業・林業・漁業	453	233	△48.7	79	399	403.8
鉱業	1,094	2	△99.8	△7,513	8,247	-
合計 (その他含む)	11,649	18,717	60.7	6,135	17,776	189.8

〔出所〕スペイン経済・競争力省

表6 スペインの主な対内直接投資事例（2015年）

<M&A>

被買収企業（事業）		買収企業		時期	投資額	概要
業種	企業名	企業名	国籍			
小売り・流通	エル・コルテ・イングレス	ハマド・ビン・ジャーシム・ビン・ジャブル・アール・サーニー前首相兼外相	カタール	7月	10億ユーロ	初めての外国人株主としてカタール王族から株式の10%に相当する10億ユーロの出資を受け、食品部門で海外展開を開始。
再生可能エネルギー	ゲスタンプ・ソーラー（現社名：エクセリオ）	コールバーグ・クラビス・ロバーツ（KKR、投資会社）	米国	12月	8億ドル	ゲスタンプ・ソーラーの株式80%を買収。
食品小売り・流通	ミケル・アリメンタシオ	光明食品	中国	9月	1億1,000万ユーロ	戦略的投資家とともに買収。中国向け食品輸出のプラットフォームとすることが主目的。
食品	パンリコ	グルポ・ビンボ	メキシコ	7月	1億9,000万ユーロ	同業でイベリア半島で展開するパンリコを1億9,000万ユーロで買収することで合意したと発表。
再生可能エネルギー	ゴンバリ・エオリカ	三井物産	日本	3月	n.a.	世界最大手の風力発電用タワー・フランジメーカー、GRIリニューアブル・インダストリーズを統括する持株会社ゴンバリ・エオリカの株式25%取得を発表。

〔出所〕 各社発表および報道などから作成

表7 スペインの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

（単位：100万ユーロ、%）

	輸出（FOB）					輸入（CIF）			
	2014年	2015年				2014年	2015年		
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
医薬品	341	447	18.1	31.2	乗用車	774	1,101	34.2	42.1
豚肉	234	228	9.2	△2.4	自動車部品	149	188	5.8	25.5
自動車部品	178	220	8.9	23.8	印刷機器（複合機・部品）	89	92	2.9	2.6
灰および残留物	134	134	5.4	△0.1	自動二輪車	64	91	2.8	41.2
オーリーブ油	80	106	4.3	32.9	集積回路	63	65	2.0	2.0
ワイン	79	81	3.3	2.6	自動車・船舶エンジン用部品	43	54	1.7	24.9
乗用車	37	75	3.1	104.0	分析・計測機器	34	51	1.6	50.0
液化天然ガス（LNG）	472	74	3.0	△84.3	血液製剤	24	42	1.3	74.0
生鮮マグロ（クロマグロ）	32	49	2.0	54.1	エアコン	46	42	1.3	△10.0
婦人用衣類	37	44	1.8	18.5	複素環式化合物	1	41	1.3	2,827.5
合計（その他含む）	2,613	2,470	100.0	△5.5	合計（その他含む）	2,634	3,218	100.0	22.2

〔出所〕 スペイン税関

■ 日本からの大型投資案件が相次ぐ

日本からのスペイン向け投資は、製造業を中心に大型事例が相次ぎ、前年比2.6%増の3億8,800万ユーロと前年に続き統計開始（93年）以来最高となった。

最大事例とみられるのは、2015年4月のヤンマーによるオンサイト型発電機大手ヒモインサの株式70%取得だ。同社は130以上の販路を持ち、高速鉄道や海水淡水化プラント向けの非常電源の納入実績がある。三井物産は2015年3月に風力発電用タワー・フランジ世界最大手GRIリニューアブル・インダストリーズを統括する持株会社の株式25%を取得。パナソニックは2015年6月に自動車部品大手フィコサ・インターナショナルの株式49%を取得し、グローバルな資本業務提携を締結。日本電産は2015年8月にリオハのプレス機器製造アリサ・プレスを子会社経由で買収した。大塚製薬は2015年10月にフランス子会社を通じて、健康・機能性食品大手のピオセンチュリーを買収し、欧州全域への事業展開を加速させた。小

売り分野でも、良品計画が2016年1月よりイベリア半島の「無印良品」ライセンス事業会社2社を直営化した。

スペインからの対日投資は、前年比33.4%減の800万ユーロとなった。大部分が持ち株会社による株式取得や資金の移動であり、拠点設立や店舗の拡張など生産や雇用につながる投資は低調だった。再生可能エネルギー固定価格買い取り制度の導入以降活発化した太陽光発電関連企業の動向では、近年は施工企業が盛況だ。建設大手ACS傘下の建設会社マエテルは2015年8月にカナディアンソーラーが熊本県で開発する48MWのメガソーラーのEPC（設計・調達・施工）サービスを受注。2016年初めには、建設中堅グルポ・オルティスも日本に拠点を開設。また、イベリア航空は2016年1月に同年10月よりマドリード～成田線の直行便を18年ぶりに再開すると発表した。両国間の観光客数の急増を受けた決定だが、これをきっかけとしたビジネス拡大も期待される。